

創立 70 周年を迎えるにあたって

一般社団法人日本繊維機械学会は、繊維産業に携わる方々の結集体として昭和 23 年に設立されて以降、

- 繊維関連技術発展と人材育成のための研究発表会、講演会、講習会等の企画実施
- 学会誌および論文集等の発刊をはじめとする繊維・繊維機械技術に関する学術の普及
- 国際会議開催等による国際社会への技術発信と交流活動

を活発に展開し、繊維及び繊維機械に関する学術の進歩、かつこれらに関連する工業技術の発展に努め、平成 29 年に創立 70 周年を迎えることとなりました。これはひとえに会員の皆様の絶大なるご支援とご協力の賜物であり、ここに深く感謝の意を表します。

学会創立以降、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きな発展を遂げた一方、繊維産業を取り巻く環境も変貌を遂げるなか、時代に即した技術者、研究者の育成支援も必要です。

70 周年という節目にあたり、このような繊維産業を取り巻く現状を鑑み、本学会では、繊維及び繊維機械に関する更なる学術の進歩、工業技術への更なる貢献を推進すべく、「**繊維産業の未来を語ろう**」をメインテーマとして、下記の記念事業を計画しております。

<p>(1) 創立 70 周年記念式典 【期日】 平成 29 年 9 月 13 日 (水) 午後 【会場】 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス センターホール (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1) 【内容】 産・官・学からのご祝辞や基調講演ならびに繊維産業に携わる方々の交流を促進。</p>					
<p>(2) 日本繊維機械学会ミュージアム 【期日】 平成 29 年 9 月 13 日 (水)、14 日 (木) 【会場】 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 60 周年記念館 2 F (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1) 【内容】 繊維産業に関わる人材の育成を目的とし、繊維関連企業にご協力いただき、繊維産業の社会への貢献をテーマとした技術展示。 【展示協力】 旭化成(株) (株)神津製作所 (株)島精機製作所 帝人(株) (株)豊田自動織機 村田機械(株) (株)アシックス 倉敷紡績(株) 津田駒工業(株) 東洋紡(株) 日本毛織(株) ユニチカ(株) 金井重要工業(株) シキボウ(株) TMTマシナリー(株) 東レ(株) 福原産業貿易(株)</p>					
<p>(3) 国際シンポジウム「第 45 回繊維工学研究討論会」 The 45th Textile Research Symposium 【期日】 平成 29 年 9 月 14 日 (木) ~ 16 日 (土) 【会場】 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 60 周年記念館 (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1) 【内容】 国内外の技術者・研究者の国際的な技術交流と連携の深化。</p>					
<p>(4) 第 70 回年次大会～創立 70 周年記念大会～ 【期日】 平成 29 年 6 月 2 日 (金)、3 日 (土) 【会場】 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4) 【内容】 研究成果、製品発表ならびに懇親会を通じて、学術的・技術的交流を深め、繊維ならびに繊維機械に関する情報や意見交換を行う。</p>					
<p>(5) 論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) 年次大会特集号の刊行 【内容】 平成 29 年度に年次大会 NOTE 特集号を刊行。 【掲載費】 無料 (掲載費・別刷り料金) (但しカラーは別途料金必要)</p>					
<p>(6) 繊維機械学会誌「月刊せんい」特集号の刊行 【内容】 平成 29 年度に記念特集号を刊行。</p>					
<p>(7) 若手研究者・技術者育成基金の設立 【内容】 次世代の繊維産業を担う若手人材育成を目的として、10 年間にわたり研究助成金を交付するための基金を創設する。</p>					

創立 70 周年記念行事に加え、若手研究者・技術者育成基金の設立には、通常の学会活動資金に加えて新たな財源を必要と致します。本活動へのご理解をいただき、広く皆様方よりご寄付のご支援・ご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

賜りましたご寄付は、学会の特別会計に繰り入れ、上記の実施に充てさせていただきます。募金総額は 1,600 万円を目標としております。正会員のみなさまには 1 口 5,000 円にてご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

一般社団法人日本繊維機械学会長 喜成 年泰
 創立 70 周年記念事業実行委員長 鋤柄佐千子

一般社団法人日本繊維機械学会 創立 70 周年記念式典

一般社団法人日本繊維機械学会は、本年創立 70 周年を迎えることになりました。これは会員各位をはじめ関係の皆様のご支援とご協力の賜物です。70 周年という節目から未来に向けて、さらに繊維及び繊維機械に関する学術の普及、時代に即した技術者、研究者の育成支援をしていきたいと思ひます。

これを記念し、下記の要領により式典を開催させていただきますので、皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成 29 年 9 月 13 日(水) 13.00～(受付開始12.00～)

会場 記念式典：京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス センターホール（京都市左京区松ヶ崎橋上町 1）

日本繊維機械学会ミュージアム：同学 60 周年記念館 2 階

記念祝賀会：同学 KIT HOUSE 1 階カフェテリアオルタス

https://www.kit.ac.jp/uni_index/access/

内容 予定

13.00～13.05 学会長挨拶

..... 日本繊維機械学会 会長, 金沢大学 喜成 年泰

13.05～13.10 来賓祝辞

..... 国立大学法人京都工芸繊維大学 学長 古山 正雄氏

13.10～13.30 来賓祝辞

..... 一般社団法人日本繊維機械協会 会長, 村田機械株式会社 代表取締役社長 村田 大介氏

記念講演

13.30～14.00 講演 (1)「繊維産業の現状と問題」

..... 経済産業省 製造産業局 生活製品課 企画官 矢野 剛史氏

14.00～15.00 講演 (2)「繊維の異分野融合と教育」

..... 国立大学法人信州大学 学長 濱田 州博氏

15.00～15.15 休憩

表彰式

15.15～15.45 功労賞, 日本繊維機械学会賞「学術研究奨励賞」

15.45～15.50 閉会の辞

..... 創立 70 周年記念事業実行委員長, 京都工芸繊維大学 鋤柄佐千子

16.00～17.20 創立 70 周年記念事業「日本繊維機械学会ミュージアム」(会場：同学 60 周年記念館 2 階)

17.30～19.00 記念祝賀会 (会場：KIT HOUSE 1 階カフェテリアオルタス, 定員 200 名)

参加費 会 員 (記念式典, 日本繊維機械学会ミュージアム, 記念祝賀会) 無料

非会員 (記念式典, 日本繊維機械学会ミュージアム) 無料, 記念祝賀会有料 5,000 円

申込 (1) 学会 HP より参加申込みができます。

(2) ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤記念祝賀会参加有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

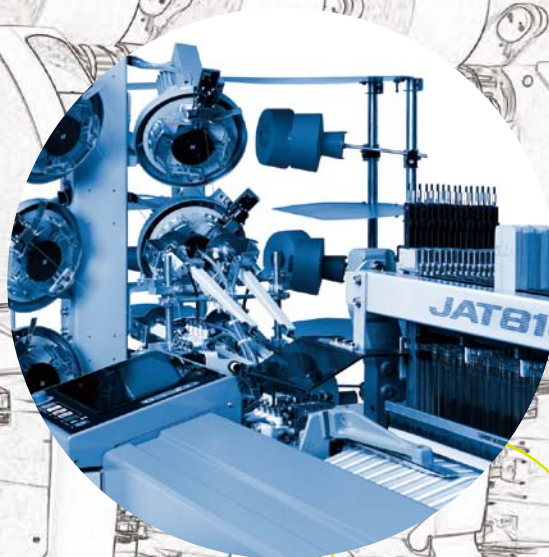
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp



70th
TMSJ

一般社団法人 日本繊維機械学会
創立70周年記念事業

繊維産業の未来を語ろう!



日本繊維機械学会

The Textile Machinery Society of Japan

ミュージアム

参加費無料
事前申込不要

2017. 9/13(水) 14(木)

場所: 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス60周年記念館 2階

■ 一般公開時間

13日: 13時~16時

14日: 9時~15時

※事前申込・参加費とも不要

■ 協力企業 ■

- ・旭化成株式会社・株式会社アシックス・金井重要工業株式会社・株式会社神津製作所・倉敷紡績株式会社・シキボウ株式会社
- ・株式会社島精機製作所・津田駒工業株式会社・TMTマシナリー株式会社・帝人株式会社・東洋紡株式会社・東レ株式会社
- ・株式会社豊田自動織機・日本毛織株式会社・株式会社福原精機製作所・村田機械株式会社・ユニチカ株式会社

繊維機械 de クイズラリー

会場では繊維や繊維機械に関するクイズも楽しめるよ!!
たとえば、これ知ってるかな？



わたしたちが普段着ている服にも使われているポリエステル繊維。
最新の機械を使うと、1分間に何メートルのポリエステル繊維を
製造することができるでしょうか。

A 30m

B 300m

C 3000m

答えは会場で!!

最先端の服や
スポーツ製品の
展示も沢山!



会場 MAP



問い合わせ

一般社団法人日本繊維機械学会

〒550-0004大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL: 06-6443-4691 <http://tmsj.or.jp/> mail: info@tmsj.or.jp

第 45 回繊維工学研究討論会 (国際シンポジウム) THE 45th TEXTILE RESEARCH SYMPOSIUM IN KYOTO

第 45 回繊維工学研究討論会 (国際シンポジウム) は、日本繊維機械学会創立 70 周年記念事業の一環として、京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパスで開催いたします。

このシンポジウムは、国内外の繊維工学研究者や技術者間の、繊維工学研究討論や情報交流をはかるために 1972 年に始まり、Mt.Fuji Conference の愛称で親しまれ本年で 45 回目を迎えます。会議は英語使用を原則とし、口頭発表およびポスター発表が行われます。

これまで例年国内外から 60 ～ 100 名が集い、30 ～ 40 論文が討論され、特に若い研究者が著名な海外からの研究者と親しく話せる国際学術交流の場になっています。

なお、今回はシンポジウム優秀ポスター賞を創設しましたので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

期 日 平成 29 年 9 月 14 日 (木) ～ 16 日 (土)

会 場 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 60 周年記念館 (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1)

内 容 予定

9 月 14 日 (木) 登録, 昼食, ポスター発表, 研究発表, 日本繊維機械学会ミュージアム (企業展示),
Welcome Party

9 月 15 日 (金) 研究発表, 懇親会

9 月 16 日 (土) 研究発表, エクスカーション (京都観光を予定)

参加費

■ 全日程参加 (懇親会, エクスカーションは除く)

日本繊維機械学会会員 25,000 円, 非会員 33,000 円, 学生会員 10,000 円, 学生非会員 15,000 円,
テキスタイル科学研究会メンバー 22,000 円 (税別, アブストラクト集代を含む)

■ 一日参加 (懇親会, エクスカーションは除く)

日本繊維機械学会会員 15,000 円, 非会員 23,000 円, 学生会員 5,000 円, 学生非会員 7,500 円,
テキスタイル科学研究会メンバー 13,000 円 (税別, アブストラクト集代を含む)

■ 懇親会 6,000 円

参加申込 学会 HP よりお申込み下さい。

参加申込先・問合先 日本繊維機械学会 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

その他 期間中の宿泊, 昼食は各自でご準備下さい。

第 45 回繊維工学研究討論会実行委員会			
実行委員長	井上 真理 (神戸大学)		
副実行委員長	奥林 里子 (京都工芸繊維大学)	金井 博幸 (信州大学)	
実行委員	石丸 園子 (東洋紡)	井野 晴洋 (京都工芸繊維大学)	北口 沙織 (京都工芸繊維大学)
	迫部 唯行 (ユニチカ)	佐藤 哲也 (京都工芸繊維大学)	田上 秀一 (福井大学)
	辻 幸恵 (神戸学院大学)	中西 康雅 (三重大学)	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)
	山下 義裕 (大阪成蹊短期大学)		
アドバイザー	鞠谷 雄士 (東京工業大学)	木村 照夫 (京都工芸繊維大学)	松平 光男 (カトーテック)

PROGRAM OF THE 45th TEXTILE RESEARCH SYMPOSIUM IN KYOTO

September 14, 15 and 16, Kyoto, Conference Room No.1
The 60th anniversary hall, Kyoto Institute of Technology

14th September (Thursday)

9 : 00~10 : 00	Registration
10 : 00~10 : 10	Opening
10 : 10~10 : 35	Keynote Speech 1 : Tsuyoshi Nishiwaki, ASICS Corporation, Japan
10 : 35~12 : 15	Session 1 : Fiber Science and Engineering
12 : 15~13 : 30	Lunch
13 : 30~15 : 30	Poster presentation (1F K101 in East Building No. 3) Museum Tour (The 60 th anniversary hall 2F)
15 : 30~15 : 55	Keynote Speech 2 : Professor B. K. Behera, Indian Institute of Technology Delhi, India
15 : 55~17 : 35	Session 2 : Nano Fibers and Smart Textiles
18 : 00~19 : 30	Welcome Party (4F in Building No.13)

15th September (Friday)

8 : 30~	Registration	
9 : 30~ 9 : 55	Keynote Speech 3 : Professor Xioming Tao, The Hong Kong Polytechnic University, H.K.	
9 : 55~10 : 45	Session 3 : Apparel Science and Production Technology	
10 : 45~11 : 00	Coffee break	
11 : 00~12 : 15	Session 4 : Fabric Handle and Sense Evaluation	
12 : 15~13 : 30	Lunch	
13 : 30~13 : 55	Keynote Speech 4 : Professor Jiri Militky, Technical University of Liberec ,Czech Republic	
13 : 55~15 : 10	Session 5 : Composite and Industrial Textile (2F K201 in East Building No. 3)	Session 6 : Dyeing and Finishing (3F K301 in East Building No. 3)
15 : 10~15 : 25	Coffee break	
15 : 25~16 : 40	Session 5 : Composite and Industrial Textiles	Session 6 : Dyeing and Finishing
16 : 40~17 : 05		
17 : 05~18 : 00	Short trip to Symposium Party Venue	
18 : 00~20 : 00	Symposium Party	

16th September (Saturday)

8 : 30~	Registration
9 : 15~10 : 05	Session 7 : Designs and Quality of Textiles
10 : 05~10 : 20	Coffee break
10 : 20~11 : 55	Session 8 : Science and Technology of Textile Machinery
11 : 55~12 : 05	Closing Address
12 : 05~	Excursion

14th September (Thursday)

9 : 00~10 : 00 **Registration**

10 : 00~10 : 10 **Opening**

10 : 10~10 : 35 **Keynote speech 1**

Textile impact on high performance sporting gear

Tsuyoshi Nishiwaki
ASICS Corporation, Japan

10 : 35~12 : 15 **Session 1 : Fiber Science and Engineering**

1. Sound absorption and compression properties of perpendicular-laid nonwovens

Tao Yang, Xiaoman Xiong, Rajesh Mishra, Jan Novak, Jiri Militky
Technical University of Liberec, Czech Republic

2. Line lighting systems based on the side emitting optical fibers

Dana Kremenakova, Jiri Militky, Rajesh Mishra
Technical University of Liberec, Czech Republic

3. Simultaneous fiber structure formation and dyeing of poly(ethylene terephthalate) fibers through cold-drawing in ethanol

Dong Woo Go, Rina Khanum, Wataru Takarada, Arun Aneja*, Takeshi Kikutani
Tokyo Institute of Technology, Japan
*:East Carolina University, USA

4. Dependence of thermal-contact properties on compression of furs and fabrics

Jiang Shaochen, Shen Hua, Sachiko Sukigara
Kyoto Institute of Technology, Japan

12 : 15~13 : 30 **Lunch**

13 : 30~15 : 30 **Poster presentation , Museum Tour**

01P-1a Tensile properties of high-strength aramid fibers after fatigue

Suguru Yagi, Yuya Yomogizawa, Kaname Sugimura, Akihiro Suzuki, Katsufumi Tanaka, Midori Takasaki, Haruki Kobayashi
Kyoto Institute of Technology, Japan

02P-2b Influence of electrolyte on the self-organization of liquid silk

Yutaka Kawahara, Ayumi Sato
Gunma University, Japan

03P-1a Structure development of various poly(lactic acid)s in high-speed melt spinning process

Nanjanporn Rongpaisan, Wataru Takarada, Takeshi Kikutani
Tokyo Institute of Technology, Japan

04P-2b Unique multiple melting behavior of high-speed melt spun polylactide fibers and its kinetics analysis

Natsumi Fukushi, Miku Yoshizawa, Shota Onosato*, Motohiro Hanada*,
Midori Takasaki**, Wataru Takarada***, Yutaka Kawahara*, Takeshi Kikutani***,
Haruki Kobayashi**, Katsufumi Tanaka**
Miyagi University of Education, Japan
*:Gunma University, Japan
**:Kyoto Institute of Technology, Japan
***:Tokyo Institute of Technology, Japan

05P-1a **Improvement in filtration performance of hydrophobic nanofiber fabric by ethanol treatment**

Yuya Kishida, Yasuhito Mukai
Nagoya University, Japan

06P-2b **Heat sensitive filament for 3D printers**

Hiroki Murotani, Takatoshi Nakatani, Futoshi Yamada, Kenji Hasegawa, Kenji Kode
UNITIKA LTD., Japan

07P-1a **Study on formation of metallic oxide supported functional paper and its catalytic activity**

Sota Sawaki, Haruhiro Ino, Yoichi Kodera*
Kyoto Institute of Technology, Japan

*:National Institute of Advanced Industrial Science & Technology(AIST), Japan

08P-2b **Resources of ethical down**

Junya Kuroyanagi, Narumi Suda, Ken Kuroda*, Toshikatsu Kawada**
UMOU SCIENCE LAB, Japan
*:ECO LAND, Japan
**:Kawada Feather Co., Ltd, Japan

09P-1a **Adsorption characteristics of protein by cibacron blue-supported nanofiber fabric**

Takuro Sumi, Yasuhito Mukai
Nagoya University, Japan

10P-2b **Selective adsorption characteristics of gold ions by nylon nanofiber fabric**

Yasuhito Mukai, Tomoaki Tanabe
Nagoya University, Japan

11P-1b **Proposal of “L_∞PLUS” system for waste textile**

Yoshinori Fujio, Keisuke Yamagata, Yasuaki Hara, Teruo Kimura*
Kurabo Industries LTD., Japan,
*:Kyoto Institute of technology, Japan

12P-2a **Relationship between large deflection behavior and the components of woven fabric**

Ryo Hashizume, Rina Wakako, Toshiyasu Kinari
Kanazawa University, Japan

13P-1b **Acoustic properties and internal structure of foam containing pulp and foaming agent composed of acrylic polymer/liquid hydrocarbon**

Mizue Kakehi, Takuma Kiribayashi*, Hideyuki Uematsu*, Shuichi Tanoue*
Industrial Technology Center of Fukui Prefecture, Japan
*:University of Fukui, Japan

14P-2a **Twisting form in the twisting part of disc friction false-twisting machine**

Satoshi Tomohiro, Naoto Kaneda, Toshiyasu Kinari*
National Institute of Technology Fukui College, Japan
*:Kanazawa University, Japan

15P-1b **Flame retardant material for high visibility work clothes**

Junji Hamada, Haruki Morikawa, Atsushi Kuwabara
Toray Industries, Inc., Japan

16P-2a **Surging in false-twisting machine**

Kouichi Hayashida, Naoto Kaneda, Toshiyasu Kinari*
National Institute of Technology Fukui College, Japan
*:Kanazawa University, Japan

- 17P-1b **Relation between the surface gloss and the weave on the polyester fabric**
 Miwa Iwashita, Atsuji Masuda, Tetsuhiko Murakami, Seiji Kawabata,
 Shinya Seko*, Yoshiyuki Iemoto*, Hideyuki Uematsu*, Shuichi Tanoue*
 Industrial Technology Center of Fukui Prefecture, Japan
 *:University of Fukui, Japan
- 18P-2b **Flow of non-newtonian fluid through a microchannel with an abrupt contraction**
 Kazunori Yasuda, Takayuki Hirai, Akichika Kimura, Motosuke Sogo, Yukiharu Iwamoto
 Ehime University, Japan
- 19P-1a **Foaming of cellulose derivatives in supercritical CO₂**
 Tatsuya Suzuki, Satoko Okubayashi
 Kyoto Institute of Technology, Japan
- 20P-2b **Development of the wool non-chlorine machine washable method**
 Masukuni Mori
- 21P-1a **Low temperature dyeing for natural fibre by using (+)-catechin**
 Kaito Okada, Takanori Matsubara*
 Tokushima University, Japan
 *:College of Industrial Technology, Japan
- 22P-2b **Deodorant mechanism for model malodorous substances by mordant-dyed cotton and wool fabrics**
 Toshiko Amemiya
 Ochanomizu University, Japan
- 23P-1a **Hair colouring by using tea extracts**
 Katsuki Watanabe, Chihiro Sakurai*, Takanori Matsubara**
 Gifu University, Japan
 *.Simane University, Japan
 **:College of Industrial Technology, Japan
- 24P-2b **Levelness study of cotton fabric dyed in different solvents**
 Chi-wai Kan, Yiu-lun Tang
 The Hong Kong Polytechnic University, Hong Kong
- 25P-1a **Dyeing for natural fibre by utilising chemical reaction of anthocyanins part I dyeing methods - dyeability relations**
 Asuka Sato, Hinata Inoue, Yoshihito Niimoto, Takanori Matsubara,
 Kaori Miura*, Kenichi Fujimori*
 College of Industrial Technology, Japan
 *:Glico Nutrition Co., Ltd., Japan
- 26P-2b **Modification of wool fiber surface using combined keratinase-protease treatment and the characterization**
 Chendi Tu, Sachiko Sukigara
 Kyoto Institute of Technology, Japan
- 27P-1a **Dyeing for natural fibre by utilising chemical reaction of anthocyanins part II effects of dyeing conditions**
 Yoshihito Niimoto, Hinata Inoue, Asuka Sato, Takanori Matsubara,
 Kaori Miura*, Kenichi Fujimori*
 College of Industrial Technology, Japan
 *:Glico Nutrition Co., Ltd., Japan

- 28P-2a **Preparation of carbonized PAN nanofiber fabric and its properties of solute adsorption**
Bijun Huang, Yasuhito Mukai, Kazuma Osawa, Toshihira Irisawa, Yasuhiro Tanabe
Nagoya University, Japan
- 29P-1b **Development of silk based artificial blood vessel by electro-spinning method**
Yoshihiro Yamashita, Yoshiyuki Tsukahara*, Masataka Sata**,
Ikue Suzuki***, Toshifumi Hiraoki***, Tetsuo Asakura***
Osaka Seikei Collage, Japan
*:The University of Shiga Prefecture, Japan
**:Tokushima University, Japan
***:Tokyo University of Agriculture and Technology, Japan
- 30P-2a **Optimization of plasma processing conditions for improving on adhesion of glass fiber composite materials**
Shota Naito, Jian Shi, Mamoru Mizuno, Masaya Sugimoto
Akita Prefectural University, Japan
- 31P-1b **Study on the preparation microcapsule of AIP/ ZHS and the flame retardation of PVC membrane materials**
Jian Han, Juanjuan Su, Bin Zhang
Zhejiang Sci-Tech University, China
- 32P-2a **Hoop tension evaluation of CFRP with braided structure by hydraulic experiment**
Kento Kawai, Takuru Suehiro, Nanang Endriatno, Toshiyasu Kinari
Kanazawa University, Japan
- 33P-1b **Resinification technique of feather keratin**
Yutaka Kawahara, Hiroaki Ohnishi
Gunma University, Japan
- 34P-2a **Mechanical properties of needle punched chopped strand mat composite with open hole**
Daiki Ichikawa, Ryo Marui*, Tohru Morii**, Akio Ohtani
Kyoto Institute of Technology, Japan
*:Marui Textile Machinery Co., Ltd, Japan
**:Shonan Institute of Technology, Japan
- 35P-1b **Development of the molding method for polyurea**
Yutaka Kawahara, Shunsuke Otoyama
Gunma University, Japan
- 36P-2b **An estimation method of material damping properties for textile composites by mesh superposition method**
Yoshifumi Suzuki, Kin'ya Matsumoto, Yasumasa Nakanishi
Mie University, Japan
- 37P-1b **Influence of the brand name and the price on evaluating in "shittori" for baby's underwear**
Yukari Suehiro, Sachiko Sukigara*
Mukogawa Women's University, Japan
*:Kyoto Institute of Technology, Japan
- 38P-2a **Durability and comfort of carseat**
Funda Buyuk Mazari, Antonin Havelka, Adnan Mazari
Technical university of Liberec, Czech Republic

- 39P-1b **Visual surface roughness of legs with pantyhose and color effect of pantyhose fabric**
 Lina Wakako, Toshiyasu Kinari
 Kanazawa University, Japan
- 40P-2a **Survey on thermal condition and micro climate in bedding for assessment of sleeping comfort - comparison between hong kong and japan -**
 Yuki Kobayashi, Takayuki Ueno, Naohide Nishiyama, Yoshitaka Niimi, Hiroyuki Kanai,
 Siyu Lin*, Xiao Liao*, Lei Yao*, Edwin Keh*
 Shinshu University, Japan
 *:Hong Kong Research Institute of Textiles and Apparel, Hong Kong
- 41P-1b **A measure of comfort: KES texture measurement technology for objective evaluation**
 Sean Huang, Kei Kawauchi
 Kato Tech Co., Ltd., Japan
- 42P-2a **Analysis of frictional behavior of spunbond nonwoven by whisker type tactile sensor**
 Thinzar Phyo Wyint***, Toshiyasu Kinari*, Hiroshi Tachiya*,
 Lina Wakako*, Mari Inoue**
 *:Kanazawa University, Japan
 **:Kobe University, Japan
 ***:Yangon Technological University, Myanmar
- 43P-1b **Quality and preference of jackets: a comparison between students and non-students**
 Saori Kitaguchi, Mariko Kumazawa, Kou Sugahara, Takahiro Iida, Tetsuya Sato,
 Sachiko Sukigara
 Kyoto Institute of Technology, Japan
- 44P-2a **Friction properties for fabrics by linear/rotational dragging with tactile sensor**
 Shinnosuke Yoneda, Toshiyasu Kinari, Hiroshi Tachiya, Lina Wakako
 Kanazawa University, Japan
- 45P-1b **A study of the interactions of softening agents and nanoparticles with respect to the handle of wool fabrics**
 Momoko Sugimura, Steve McNeil*, Larissa Zaitseva*
 Niigata University, Japan
 *:AgResearch Ltd, New Zealand
- 46P-2a **Application of ring method for denim fabrics and its relations with mechanical and surface properties**
 Nazli Uren, Ayse Okur
 Dokuz Eylul University, Turkey
- 47P-1b **Appearance and handle design of cotton crepe fabrics for women's dresses**
 Hiroko Yokura, Sachiko Sukigara*
 Shiga University, Japan
 *:Kyoto Institute of Technology, Japan
- 48P-2b **The price of the t-shirt which japanese students assume**
 Ibuki Hosomi, Kouhei Kagotani, Pandya Shiddharth Pandya*, Yukiie Tsuji
 Kobe Gakuin University, Japan
 *:Kobe International University, Japan
- 49P-1b **Research about the kimono which put on at a coming-of-age ceremony**
 Sae Taguchi, Kousuke Hamada, Ryouta Syouji, Siddharth Pandya*, Yukiie Tsuji
 Kobe Gakuin University, Japan
 *:Kobe International University, Japan

15 : 30~15 : 55 **Keynote speech 2**

3D fabric and their applications

B. K. Behera

Indian Institute of Technology Delhi, India

15 : 55~17 : 35 **Session 2 : Nano Fibers and Smart Textiles**

5. Plasma mediated coating of fibers by conductive layers

Jiri Militky, Veronika Tunakova, Roman Pulicek, Josef Vecernik*

Technical University of Liberec, Czech Republic

*:Vecernik s.r.o., Alsovice, Czech Republic

6. Mechanical properties of the flexible conductive yarn

Atsuji Masuda, Takahiro Tsuji, Akiko Uejima,

Tomoaki Harii*, Yoshihiro Iwasaki*, Eiji Tajima*, Takayoshi Koizumi*

Industrial Technology Center of Fukui Prefecture., Japan

*:URASE CO., Ltd., Japan

7. Formation of superamphiphobic inorganic nanofiber mats using silane coupling agents with short perfluoroalkyl chain

Koji Nakane, Shuya Gao, Akiyoshi Ohgoshi*, Tadayuki Isaji*, Masaaki Ozawa*

University of Fukui, Japan

*:Nissan Chemical Industries,Ltd., Japan

8. Molding and mechanical property of keratin based composite material using ionic liquid

Haruhiro Ino, Keisuke Komuro, Teruo Kimura, Yoichi Kodera*

Kyoto Institute of Technology, Japan

*:National Institute of Advanced Industrial Science & Technology (AIST), Japan

18 : 00~19 : 30 **Welcome Party**

15th September (Friday)

8 : 30~ **Registration**

9 : 30~ 9 : 55 **Keynote speech 3**

Textile-based wearable system for monitoring upper-arm muscle contraction during dynamic flexion

Xiaoming Tao

The Hong Kong Polytechnic University, H.K.

9 : 55~10 : 45 **Session 3 : Apparel Science and Production Technology**

9. Thermophysiological and sewing properties of firefighter clothing

Adnan Mazari, Antonin Havelka, Funda Buyuk Mazari

Technical University of Liberec, Czech Republic

10. The compression properties of towel under various water contents

Yuriko Kibayashi, Hiroko Yokura*, Sachiko Sukigara

Kyoto Institute of Technology, Japan

*:Shiga University, Japan

- Coffee Break 15 min -

11 : 00~12 : 15 **Session4 : Fabric Handle and Sense Evaluation**

11. **Effect of fiber length on hand and dimension changes of cotton knit fabrics by laundering**
Nagisa Hirata, KyoungOk Kim, Masayuki Takatera, Kyosuke Kanda*, Masatoshi Kawakami*
Shinshu University, Japan
*Kondo Cotton Spinning Co., Ltd., Japan
12. **Objective evaluation of the handle of towels**
Mari Inoue, Kazuki Chiba, Hiromi Nakaya, Yusuke Hayashi
Kobe University, Japan
13. **Nonlinearity evaluation of soft materials by ball indentation imitating palpation**
Atsushi Sakuma, Asuka Nagai, Etsuko Takayama
Kyoto Institute of Technology, Japan

12 : 15~13 : 30 **Lunch**13 : 30~13 : 55 **Keynote speech 4****Multilayered perpendicular nonwovens for advanced thermal and acoustic insulation**

Jiri Militky, Rajesh Mishra, Mohanapriya Venkataraman, Tao Yang
Technical University of Liberec, Czech Republic

14 : 00~15 : 15 **Session5 : Composite and Industrial Textiles**

14. **Interesting different mechanical behaviours of 3D warp interlock fabrics for composite material**
F. Boussu, D. Soulat, C. Huniade, S. Picard*
*ENSAIT, GEMTEX Université de Lille1, France
15. **Activated carbon structures from fibrous wastes**
Jiri Militky, Vijiy Valeti, Salman Naeem
Technical University of Liberec, Czech Republic
16. **Introduction of new fire blocking textile "GULFENG®" composed of PPS and Ox-PAN**
Masaru Harada, Hiroshi Tsuchikura, Atsushi Kuwabara
Toray Industries, Inc., Japan

- Coffee Break 15 min -15 : 30~17 : 10 **Session5 : Composite and Industrial Textiles**

17. **Optimization of formulations with basalt fiber**
Promoda Kumar Behera, Vijay Baheti, Jiri Militky, Holmer Savastano Junior
Technical University of Liberec, Czech Republic
18. **Laser engraving based application of silica aerogel into nonwovens for thermal insulation**
Xiaoman Xiong, Rajesh Mishra, Jiri Militky, Hiroyuki Kanai*
Technical University of Liberec, Czech Republic
*:Shinshu University, Japan
19. **Fatigue damage analysis under tension loading for textile composites**
Kazutaka Mukoyama, Koushu Hanaki, Tetsusei Kurashiki
Osaka University, Japan

14 お知らせ

20. **Study on the damage propagation under three point bending for a short glass fiber reinforced composites by an injection mold**

Li Xingshengsheng, T.Kurashiki, M.Zako, K.Kobayashi*, T.Yamamoto*, G. Yamada*, T.Sakakibara*
Osaka University, Japan

*:ITOCHU Techno-Solutions Corp, Japan

14 : 00~15 : 15 **Session6 : Dyeing and Finishing**

21. **Casein treated flame retardant cotton textiles**

Sajid Faheem, Vijay Baheti, Maros Tunak, Jakub Wiener, Jiri Militky
Technical University of Liberec, Czech Republic

22. **Soil resistant finishing technology “TECHNOCLEAN®”**

Shota Takeshita, Atsushi Kuwabara, Keiji Takeda
Toray Industries, Inc., Japan

23. **Dyeability in hair dyeing using dyestuffs prepared from biobased materials**

Hidekazu Yasunaga, Akiko Takahashi, Kazue Ito, Masahisa Ueda, Saina Taniguchi,
Asami Yano, Chinami Seki, Hiroshi Osaki, Tomoyasu Kida*, Takanori Matsubara*
Kyoto Institute of Technology, Japan

*:College of Industrial Technology, Japan

- Coffee Break 15 min -

15 : 30~16 : 45 **Session6 : Dyeing and Finishing**

24. **Present situation of supercritical fluid dyeing and finishing**

Teruo Hori, Isao Tabata, Kazumasa Hirogaki
University of Fukui, Japan

25. **Synthesis of nano-porous flexible para-aramid aerogel fiber**

Kazumasa Hirogaki, Arata Uchimura, Yumiko Suzuki, Lei Du, Isao Tabata, Teruo Hori
University of Fukui, Japan

26. **Improvement in dyeability of UHMPWE fiber using supercritical CO₂**

Jaehyuk Ma, Satoko Okubayashi
Kyoto Institute of Technology, Japan

18 : 00~20 : 00 **Symposium Party**

16th September (Saturday)

8 : 30~ **Registration**

9 : 15~10 : 05 **Session7 : Designs and Quality of Textiles**

27. **Numerical analysis for deformation behavior of textile under bi-axial tensile loading**

Yuki Kitahara, Atsushi Yokoyama
Kyoto Institute of Technology, Japan

28. **Measurement of effective thermal conductivity of synthetic and regenerated fiber assemblies in low fiber volume fraction**

Morihiro Yoneda, Ai Ogawa, Michiyo Tada
Nara Women's University, Japan

- Coffee Break 15 min -

10 : 20~11 : 55 **Session 8 : Science and Technology of Textile Machinery**

29. **Research into the causes of center marks in spandex plated fabric**

Shunji Takeuchi, Kazuki Nishioka, Hideyuki Uematsu, Shuichi Tanoue
University of Fukui, Japan

30. **An experimental study of the roller drafting parameters**

Tatsumori Matsumoto
Murata Machinery, Ltd., Japan

31. **Vortex spinning - technology, applications and market**

Akitsugu Mori
Murata Machinery Japan

32. **Bio innovative design and manufacture of CFRP preform by braiding technology**

Toshiyasu Kinari, Nanang Endriatno, Kento Kawai, Takuru Suehiro, Jiro Sakamoto, Satoshi Kitayama
Kanazawa University, Japan

11 : 55~12 : 05 **Closing Address**

12 : 05~ **Excursion**

日本繊維機械学会 第24回秋季セミナー 「市場創造 ～モノの力と繋げる力～」

日本繊維機械学会では、産学官の繊維に関わる方々を対象に、最新情報の収集ならびに意見交換の場となることを目的として、毎年11月に秋季セミナーを開催しております。第24回となる今回は来る11月16日(木)、17日(金)の両日、大阪市の大阪大学中之島センターで開催いたします。

今回は「市場創造 ～モノの力と繋げる力～」をメインテーマにしました。国内の繊維業界の動向は、アパレル関係で売り上げが停滞しているものの、各社が繊維メーカーと共同で積極的な商品開発を進めています。また、高付加価値な繊維は今後も需要増が見込まれ、用途開発や生産効率向上などの産学共同研究が進んでいます。従来からあるコスト競争の激しい市場順応型から、外部と連携しながら新たな価値を提案する市場創造型に、その企業活動を変化させようとしている点が大きなトレンドとして挙げられます。このような流れの中で、近年着実に収益を伸ばしている企業は、その商品価値を高めること(モノの力)はもちろんのこと、市場における立ち位置を見定め、不確実な需要のリスクをとりながら、明確な戦略を元に外部と連携する仕組みづくり(繋げる力)が功を奏している傾向にあります。今回のセミナーでは、このようなトレンドの中で、関係分野の方々から「モノの力」と「繋げる力」をキーワードとしてその取り組みについてご講演をいただきます。

また、本セミナーの役割には、繊維技術交流をより積極的に進めることがあります。その役割に資するために、今回も、全国の公的試験機関の研究開発成果発表について、機器展示・ポスター展示を行います。

本セミナーが、今後のものづくりの方向性を考え、議論する場になれば幸いです。みなさまのご来場をお待ちしております。

期 日 平成29年11月16日(木)、17日(金)

会 場 大阪大学中之島センター(大阪市北区中之島4-3-53)

内 容 予定

第1日目【11月16日(木) 午後】

10階 佐治敬三メモリアルホール	
12:50～	開会の辞 第24回秋季セミナー実行委員会
12:55～	挨拶 (一社)日本繊維機械学会会長、金沢大学 教授 喜成 年泰
13:00～14:30	特別講演 「AI, IoT時代のものづくり」 専修大学 経済学部 教授 中村 吉明 今、我々は、第4次産業革命というAI, IoTブームの真ただ中にいる。そこで生き残るためには、企業、各人は変わらなければならない。例えば、自動車産業は、AI, IoTの進展を背景とした自動運転車、シェアリング・エコノミーの勃興で大幅に変わりつつあり、どの企業が生き残るか不透明になっている。そのような中、「ものづくり」はどうなっていくのか。本講演では、それを考えていきたい。
14:45～15:45	繊維関連公設試によるショートプレゼンテーション 日本繊維機械学会「技術賞」受賞講演
15:50～16:20	(1)「柔らか面ファスナーの開発」 帝人フロンティア(株) 技術・生産本部 技術開発部 産業資材開発課 田中 昭 従来の面ファスナーは、高い接着力を有し汎用的に使用される一方、①肌に触れると硬くて痛い、②剥離時の音が気になる、といった市場意見があり、これらの改良が求められている。これに対し、超極細繊維のナノフロント®を利用し、柔軟で肌に優しく剥離時の音が小さい、面ファスナーの開発に成功。本発表はその技術内容について述べる。
16:20～16:50	(2)「次世代コンパクトPOY巻取設備の開発」 TMTマシナリー(株) 開発部 R&Dチーム チームリーダー 杉山 研志 従来のPOY巻取設備は、ゴデットローラー及び付属装置がワインダー上方に固定配置された2層構造の大型設備でした。本次世代POY巻取設備はこの2層構造を廃し、設備のコンパクト化を実現しています。同時に生産性と糸掛け作業性の飛躍的な向上を達成しました。本講演ではこの設備の特長について紹介します。
17:00～17:50	繊維関連公設試によるポスターセッション(3F 講義室 304)
17:50～19:30	交流会(会場:2F カフェレストランスコラ)

第2日目【11月17日(金) 午前・午後】

時間割	午前 A会場 (3階 講義室301)	午前 B会場 (3階 講義室304)
	素材×用途	スマート+テキスタイル+マシン
9:30 10:20	<p>遺伝子組換えカイコによるシルク新素材の開発 農研機構生物機能利用研究部門 新産業開拓研究領域 カイコ機能改変技術開発ユニット ユニット長 瀬筒 秀樹</p> <p>シルク(絹)は、カイコが作る天然タンパク質長繊維で、肌に優しくサステナブルな繊維である。スポンジやフィルム等への成形も可能で、再生医療用素材や工業用素材にもなる。近年、カイコの遺伝子組換え技術を用いた「光るシルク」や「クモ糸シルク」等々の新素材が開発され、異分野連携による新産業創出の試みが進んでいる。その取り組みを紹介します。</p>	<p>進化する3Dプリントから生まれる衣服 FREE-D 代表 小野 正晴</p> <p>新しいものづくりの手法として注目され存在感が増している3Dプリント。その技術も年々進化しており、デジタル化・ネットワーク化の波の中で、今後業界を問わず各所で製造手段としての広がる見込みです。</p> <p>本講演では、3Dプリンターから人が着ることが出来る服を生み出す研究の解説と、欧米を中心にファッション・アパレル分野で3D技術を使ったモノづくりがどのようなことを目指しているか、またその未来はどうなるのかを語ります。</p>
10:25 11:15	<p>スーパー繊維の開発動向と用途展開 東洋紡(株) 機能材開発研究所 奥山 幸成</p> <p>一般的にスーパー繊維とは、2GPa以上の引張強度、50GPa以上の弾性率という高い力学特性を有している繊維のことを指す。当社・東洋紡株式会社ではゲル紡糸法で製造される超高分子量ポリエチレン繊維「イザナス®」と、液晶紡糸法で製造されるPBO繊維「ザイロン®」という2つのスーパー繊維を取り扱っている。当日の報告では、原糸の開発動向、並びに用途展開について報告します。</p>	<p>JUKI スマートファクトリーの提案 JUKI(株) 上席理事 縫製機器 & システムユニット スマートソーイング研究所 所長 中村 宏</p> <p>2016年、200年来アナログで動いていたミシンは、デジタルで動くようになった。このミシンがネットワークと繋がることにより、縫製の生産現場はIoTの世界に踏み入る。キーワードはデジタル化、ロボット化、システム化。JUKIの考えるスマートファクトリーの提案を通して、これからの縫製工場の姿を占う。</p>
11:20 12:10	<p>ポリアミド中空糸膜の開発 ユニチカ(株) 技術開発本部 中央研究所 機能材料グループ マネージャー 望月 学</p> <p>ポリアミドは汎用エンジニアリングプラスチックの1つであり、高親水性、高強度、耐溶剤性良好という特長を有する。熱誘起相分離法(TIPS法)を適用することで高親水性、高強度、耐溶剤性を兼ね備えたポリアミド中空糸膜が得られた。製薬、半導体、食品等の産業用フィルターとして応用展開できる可能性がある。</p>	<p>AGMS Smart Factory クラウド×IoT AGMS(株) 代表取締役社長 伊 智勇</p> <p>世界的な製造業界を巡るうねりの中で、事業の持続性を確保するための方策としてスマートファクトリーの必要性を提案。アパレル業界を始め、ソフトマテリアルを扱う産業全般向けにスマートファクトリーのデバイス、ソフトウェア、付帯するソリューションを実例に交えてご説明いたします。</p>
12:10 13:10	昼食	
13:10 14:10	<p>特別講演 (A会場3階 講義室301) 「“Made in Japan” を世界に向けて発信しよう」</p> <p style="text-align: right;">カイハラ(株) 代表取締役会長 貝原 良治</p> <p>1. カイハラ(株)の変遷、2. プライベートカンパニーのプラスとマイナス、3. デニムでは世界のリーディングカンパニーを目指す常に新商品の開発、4. 価格と量の競争はやらない、5. 海外進出について、6. 機械の自社設計と制作、7. 設備投資の更新と減価償却は内部留保である、8. “made in Japan” の発信、9. ダイレクトマーケティング</p>	
	未来を創る複合材料のポテンシャル	仮想と現実の融合～パフォーマンス向上のためにアパレルができること～
14:20 15:10	<p>21世紀の黒いダイヤ「単層カーボンナノチューブ」の実用化を目指して 産業技術総合研究所 ナノチューブ実用化研究センター 首席研究員 湯村 守雄</p> <p>カーボンナノチューブは、様々な優れた特性を持ち、1991年に飯島澄男博士の論文が発表された当時、筆者らは21世紀の黒いダイヤと呼び、産業への応用を目指して、研究開発を進めてきた。21世紀になり、産総研において革新的な産産技術が開発され、産業化が一気に進められた。これまでの研究開発の概要を紹介し、今後の展開を紹介します。</p>	<p>衣服圧解析を応用した健康・医療分野への技術展開 (株)メカニカルデザイン 代表取締役 小林 卓哉</p> <p>有限要素法を用いた衣服圧シミュレーションにより、静止した人体への着付けから、運動中の人体を対象に検討した事例を解説する。アスリートの緊張感維持のための衣服圧設計、また連続的な心電計測への応用例である。また最新の結果として、重症心不全患者の進行性心拡大を抑制するため、ネット状の袋で心臓を覆う治療法に対する応用例を紹介し、</p>
15:15 16:05	<p>連続炭素繊維複合材料の3Dプリント 東京理科大学 理工学部 機械工学科 准教授 松崎 亮介</p> <p>自動車・航空宇宙用構造に適用可能な高強度立体造形を目的とした連続炭素繊維複合材料3Dプリンターの研究開発をご紹介します。高強度・高剛性な連続炭素繊維で強化された樹脂系複合材料を3Dプリントできれば、CADデータから最少費用・最短時間で複合材の立体造形ができるため、特に多品種生産において大きな工業的効果を持つと期待しています。</p>	<p>「Viscotecs make your brand」 パーソナルオーダーの紹介 セーレン(株) スポーツ・ファッション衣料部門 ビスコテックス・ブランド事業部長 齊藤 比禄幸</p> <p>Viscotecs make your brandは、洋服のシルエットや色・柄を自由に組合わせて「あなただけのお気に入り」を選んでいただける夢のパーソナルオーダーです。原糸製造から、織編、加工、縫製までの繊維一貫生産機能を有するセーレンが、最新のIT技術と繊維一貫生産機能を融合し、独自開発したデジタルプロダクションシステム Viscotecs で実現している状況をご紹介します。</p>
16:10 17:00	<p>自動車分野における繊維強化プラスチックの動向について (株)本田技術研究所 四輪R&Dセンター 第9技術開発室 第1ブロック 主任研究員 漆山 雄太</p> <p>近年、自動車の軽量化ニーズから繊維強化プラスチックの適用が増えつつある。繊維強化プラスチックはその比強度・比剛性が優れることが特徴であるが、成形過程の影響により成形品の強度と剛性に与える影響が大きく、繊維基材、樹脂、製法の選択は重要となる。それら研究開発の事例と技術トレンドについて述べます。</p>	<p>筋肉を着るスーツによるスポーツ体験の拡張 広島大学 大学院工学研究科 システムサイバネティクス専攻 准教授 栗田 雄一</p> <p>スポーツは健康寿命の延伸に非常に有効だが、運動を日常的に実施している人は3割程度しかいない。</p> <p>より幅広い層に「運動をしよう」と自発的に思ってもらうために、テクノロジーが貢献できることはないだろうか。本講演では、我々がやっているスポーツシーンに適した運動支援スーツと、それを用いてスポーツ体験を拡張する取り組みについて紹介します。</p>
17:00	閉会の辞	

参加費 会員 22,000 円, 非会員 30,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円,
特定会員 (65 歳以上の正会員) 8,000 円 (税別)

申込 「第 24 回秋季セミナー」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス),
④会員種別, ⑤交流会参加 (参加無料) の有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さ
い. 学会 HP の秋季セミナー頁より参加申込 (WEB 申込) ができます.

申込先 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

第 24 回秋季セミナー 繊維技術交流研究試作品・指導作品・研究成果及びポスター募集

第 24 回秋季セミナーでは, ものづくりの潮流 ~価値創造の進路を求めて~をテーマに開催いたしますが, 繊維技
術交流として全国の繊維関連公設試験研究機関や産地の企業の新技術開拓, 新製品開発及び技術改善等の研究成果・
試作品及びポスターを募集いたします. 公設試験研究機関, 産地の中小企業およびコラボレーションによる作品をお
待ちしております.

日時 平成 29 年 11 月 16 日 (木)

会場 大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島 4-3-53)

内容

- (1) ショートプレゼンテーション
- (2) 作品およびポスターの前にて参加者と交流

ショートプレゼンテーション

1 件 約 4 分のプレゼンを行います.

作品およびポスター発表 (交流)

ポスターの前にて参加者と交流

定数 16 件 (定数になり次第締め切らせて頂きます)

その他 詳細は学会 HP をご参照下さい.

平成29年度「テキスタイルカレッジ」のご案内

■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成8年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し、人材の育成に努めてまいりました。それから約20年が過ぎ、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方、繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました。

このような背景を鑑み、「テキスタイルカレッジ」の内容を見直すことといたしました。これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ、最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について、より体系的・系統的に学習できる講座として、平成29年度から新たな「テキスタイルカレッジ」が始まります。

■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は、繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています。特に、繊維関連業務に就いて間もない方や、基礎的知識について改めて学びなおしたい方、また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています。

そこで、2日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」、「糸」、「布」、「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました。

一方で、繊維関連業務に従事しながら、さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います。そのような既にも実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど、受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました。

企業など各機関の計画的な人材育成、繊維および繊維機械に関する基礎的知識の習得・再確認のための利用など、多くの方に新たに始まる「テキスタイルカレッジ」をご利用いただければ幸いです。各講座の詳細は、今後の会告でご案内させていただきます。

平成29年度「テキスタイルカレッジ」開講計画

分類	開 講 日	講 座 名	
入門	5/17(水), 18(木)	1. 「2日で学ぶせんいと布づくり」(2日)	
専 門 講 座	糸	6/16(金)	1. 「天然繊維の糸づくり」(0.5日)
		6/20(火)	2. 「化学繊維の糸づくり」(1日)
		12/5(火), 6(水)	3. 「合成繊維(実用)」(2日)
	布	10/25(水)	1. 「組物」(0.5日)
		10/26(木)	2. 「織物」(1日)
		10/27(金)	3. 「編物」(1日)
		9/28(木)	4. 「不織布」(1日)
		10/6(金)	5. 「染色加工」(1日)
		11/9(木), 10(金)	6. 「染色加工(実用)」(2日)
	製 品	10月予定	1. 「アパレル製品の設計」(1日)
		11/27(月)	2. 「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として」(1日)
		12/8(金)	3. 「実習 布の感覚性能評価(仮)」(1日)
		11・12月予定	4. 「資材用繊維製品」(1日)
		2月予定	5. 「繊維製品の品質管理と品質保証」(1日)

テキスタイルカレッジ「不織布」

不織布の概論，短繊維ならびに長繊維不織布の製法，加工法ならびに物性と用途などについて，系統的にやさしく解説します。

シニアの方には知識の整理のため，若手の方は基礎知識の習得を目的としています。不織布についての体系的な知識を得ようとされている方々の多数の受講をお待ちしています。

日時 平成 29 年 9 月 28 日(木) 9.30~17.10

会場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28 号出口北へ徒歩 5 分）

内容 予定

(1) 概論・短繊維不織布技術－乾式不織布（9.30~10.40）

..... 倉敷繊維加工(株) 企画開発部 部長 近石 尚樹

- ①日本の不織布の歴史について
- ②不織布の分類・製法，使用繊維について
- ③乾式不織布の製法，特許，後加工について
- ④乾式不織布の特徴・物性と用途について

(2) 短繊維不織布技術－湿式不織布（10.50~12.00）

..... 特種東海製紙(株) 研究開発センター 市場開発部 部長 服部 景

- ①湿式不織布の歴史，概要について
- ②湿式不織布の製法，特許，使用原料について
- ③湿式不織布の特徴・物性と用途について

(3) ナノファイバー不織布の作製と実用（13.00~13.40）

..... ナノファイバー研究会委員長，大阪成蹊短期大学 山下 義裕

- ①ナノファイバーの歴史と特許について
- ②ナノファイバーの製法について（エレクトロスピンングパルプの微細化など）
- ③ナノファイバーの特徴と用途開発について

(4) 長繊維不織布技術－スパンボンド（13.50~15.00）

..... 東洋紡(株) スパンボンド事業部長 田中 茂樹

- ①スパンボンドの歴史と概要について
- ②スパンボンドの特許，製法，使用原料について
- ③スパンボンドの特徴・物性と用途について

(5) 長繊維不織布技術－メルトブロー（15.10~16.20）

..... 高知県立紙産業技術センター 不織布課チーフ 鈴木 慎司

- ①メルトブローの歴史と概要について
- ②メルトブローの特許，製法，使用原料について
- ③メルトブローの特徴・物性と用途について

(6) 不織布の物性測定について（16.30~17.10）

..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上 真理

- ①不織布の性質・機能と試験方法について
- ②不織布の製品の評価方法について

協賛 大阪染色協会

定員 30 名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員 15,000 円，協賛学協会員 15,000 円，非会員 23,000 円，学生会員 3,000 円，学生非会員 5,000 円（税別）

申込 「テキスタイルカレッジ不織布」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail : info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

染色加工

「染色加工」講座は、多様なテキスタイル素材に関連する染色加工技術、品質保証などについて実践的な知識を得たいとおられる方々を対象に、染色加工技術の基本的な考え方や天然繊維と合成繊維に対する染色加工技術全般について「やさしく、わかりやすく解説する」ことに重きを置いた基礎講座です。講義内容は、染色加工に従事されている方々のみならず、アパレル製品の品質問題で日々悩んでおられる方々、アパレル製品の企画、設計、販売に携わっておられる方々、クリーニング関係の方々にとって「染色加工を考えるにあたっての拠り所となり得る」ものですので、幅広い分野の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 平成 29 年 10 月 6 日(金) 10.00~16.45

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

内 容 予定

(1) 染色の基礎理論 (10.00~11.00)

…………… 梶山女学園大学 生活科学部 生活環境デザイン学科 教授 上甲 恭平
赤ちゃんだってエプロンに色々な色の“染み”を付けているように、色素が染まる(染色)現象は“自然に起こる現象”であって難しく考える必要はありません。ただ、単に色を付けることは簡単なことですが、それが商品となるように色を付けるとなると大変難しくさまざまな技術を習得、理解することが必要となります。これらの技術にはそれぞれに理論があるのですが、ここでは、最も基本的な“染まるって現象”について優しく説明します。

(2) 染料概論 (11.00~12.30) …………… 元住友化学, (一社) 日本繊維技術士センター 理事 今田 邦彦

染色される繊維の化学構造や物性に対応して、それぞれの繊維の染色に適した種属の染料が開発され利用されています。ここでは、各種繊維に適した染料種属とその特徴について解説し、それぞれの繊維と染料の特性に応じた最適染色条件の設定についても説明します。

(3) 天然繊維の染色加工(基礎) (13.30~15.00) …………… 元鐘紡, 改森技術士事務所 改森 道信

セルロース繊維(綿, 麻, レーヨン等)及びタンパク質繊維(ウール, シルク)の、染色前・染色・加工仕上工程を実施して行く上で必要となる最低限の繊維に関する知識、代表的な染色前及び染色工程・加工工程、及びそれぞれの工程に用いる機械についての基礎的な知識を紹介します。

(4) 合成繊維の染色加工(基礎) (15.15~16.45)

…………… 元グンゼ, 元ユタックス, (一社) 日本繊維技術士センター評議員 坂本 修三
生産比率が高い合成繊維のポリエステル, ナイロン, アクリルを中心に、その他各種合繊の染色加工技術および加工方法を基礎が分かるように解説します。また関連技術の付加価値加工事例と業界動向に触れます。さらに複合素材を扱う染色加工現場の諸課題を検証しながら、複合素材の同浴染色加工の体験事例を紹介します。

協 賛 大阪染色協会

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 15,000 円, 協賛学協会員 15,000 円, 非会員 23,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

申 込 「テキスタイルカレッジ染色加工」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ
「組物」

テキスタイルは、用途・目的に応じて、「織る」、「組む」、「編む」などの方法で製造されており、これらの「組物」、「織物」、「編物」は衣料用のみならず、産業用途としても多く用いられている昨今です。そしてそれぞれの製造機械やテキスタイル構造の特徴を捉えることで、さらにその用途を広げる可能性が秘められています。

この度、その1つである「組物」の専門家を講師としてお迎えし、組物の製造方法や組み構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたってわかりやすく解説していただきます。また、理解を深めるため組紐製作実習も行います。

アパレルやテクニカルテキスタイル、および組物の製造工程に携わっておられる方々のみならず、初学者や組物に興味をお持ちの方まで、幅広い分野の方々を対象としていますので、多数のご参加をお待ちしております。

期 日 平成 29 年 10 月 25 日(水) 13.00~17.00

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

内 容 予定

(1) 組紐・組物の概要 (13.00~13.40)

組みひも・組物の概要, 組みひもの歴史, 種類, 手組技術

..... 組紐・組物学会 会員 西 幾代

(2) 伝統工芸品としての組みひも (13.40~14.40)

組みひもの歴史, 種類, 手組技術

..... 組紐・組物学会 会員 丸山文乃

(3) 組物作製実習 (14.50~15.50) 講師全員

(4) 産業用途の組みひも (16.00~17.00)

産業用途の組紐種類, FRP 用途の組紐技術・製品・研究動向

..... 村田機械(株) 研究開発本部 技術開発センター 魚住忠司

協 賛 大阪染色協会

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 10,000 円, 協賛学協会員 10,000 円, 非会員 18,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

複数受講割引 テキスタイルカレッジ「組物」「織物」「編物」の中から、複数講座をお申込みいただくと、各講座の参加費を 20% 引き致します。

申 込 「テキスタイルカレッジ組物」と明記し、①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「織物」

テキスタイルは、用途・目的に応じて、「織る」、「組む」、「編む」などの方法で製造されており、これらの「組物」、「織物」、「編物」は衣料用のみならず、産業用途としても多く用いられている昨今です。そしてそれぞれの製造機械やテキスタイル構造の特徴を捉えることで、さらにその用途を広げる可能性が秘められています。

この度、その1つである「織物」の専門家を講師としてお迎えし、小型の実物織機を用いて織物の製造方法や織り構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたってわかりやすく解説していただきます。また、理解を深めるため織地分析実習も行います。

アパレルやテクニカルテキスタイル、および織物の製造工程に携わっておられる方々のみならず、初学者や織物に興味をお持ちの方まで、幅広い分野の方々を対象としていますので、多数のご参加をお待ちしております。

期 日 平成 29 年 10 月 26 日 (木) 10.00~17.20

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

内 容 予定

- (1) 織物・織機の基礎 (10.00~11.30)
 兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 主任研究員 東山幸央
- (2) 準備 (整経) 工程 (11.40~12.20)
 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 部長 伴場秀樹
- (3) 織機と織布 (13.20~15.00)
 (株)豊田自動織 機繊維機械事業部 電装技術 2G 原 茂
- (4) 織地不良と管理 (15.10~16.00)
 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 部長 伴場秀樹
- (5) 織地分析実習 (16.10~17.20) 講師全員

協 賛 大阪染色協会

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000 円, 協賛学協会員 15,000 円, 非会員 23,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

複数受講割引 テキスタイルカレッジ「組物」「織物」「編物」の中から、複数講座をお申込みいただくと、各講座の参加費を 20% 引き致します。

申 込 「テキスタイルカレッジ織物」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス)、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会
 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「編物」

テキスタイルは、用途・目的に応じて、「織る」、「組む」、「編む」などの方法で製造されており、これらの「組物」、「織物」、「編物」は衣料用のみならず、産業用途としても多く用いられている昨今です。そしてそれぞれの製造機械やテキスタイル構造の特徴を捉えることで、さらにその用途を広げる可能性が秘められています。

この度、その1つである「編物（ニット）」の専門家を講師としてお迎えし、編物の製造方法や編み構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたってわかりやすく解説していただきます。また、理解を深めるため編地分析実習も行います。

アパレルやテクニカルテキスタイル、および編物の製造工程に携わっておられる方々のみならず、初学者や編物に興味をお持ちの方まで、幅広い分野の方々を対象としていますので、多数のご参加をお待ちしております。

期 日 平成 29 年 10 月 27 日(金) 10.00~17.30

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

- (1) 編物・編機の基礎（10.00~10.40）
 あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 福田ゆか
- (2) 横編機と編地（10.40~11.50）
 (株)島精機製作所 営業統括部 ホールガメント販売チーム 築野 彰
- (3) 丸編機と編地（12.50~14.00）
 福原産業貿易(株) 経営企画課 武内俊次
- (4) 経編機と編地（14.10~15.20）
 日本マイヤー(株) 営業課 課長 三船宏之
- (5) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響（15.30~16.30）
 あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 田中利幸
- (6) 編地分析実習（16.40~17.30）
 (株)島精機製作所 営業統括部 ホールガメント販売チーム 築野 彰
 日本マイヤー(株) 営業課 課長 三船宏之
 福原産業貿易(株) 経営企画課 武内俊次

協 賛 大阪染色協会

定 員 30 名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員 15,000 円、協賛学協会員 15,000 円、非会員 23,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円（税別）

複数受講割引 テキスタイルカレッジ「組物」「織物」「編物」の中から、複数講座をお申込みいただくと、各講座の参加費を 20% 引き致します。

申 込 「テキスタイルカレッジ編物」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

染色加工 (実用)

テキスタイルカレッジ「染色加工」では、染色の基本的な考え方から天然繊維と合成繊維での染色加工技術に関する基本技術について「やさしく、わかりやすく」解説いたしました。「染色加工 (実用)」では、繊維業界に長年携わってこられた方々に基礎講座を踏まえ繊維別に染色加工の応用技術に関して詳細に解説していただくだけでなく、高性能素材などの要素技術さらにはエコ対応・環境関連技術や安全性と法規制など現在の繊維業界が抱えている課題を「よりわかりやすく」解説していただきます。講義内容には、最近の技術の進歩や新たな染色加工技術へと展開についても触れていただいています。染色加工に携わっておられる方々のみならず、アパレル製品関連分野をはじめ環境関連技術分野をも含めた幅広い分野の方々を対象としていますので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 平成 29 年 11 月 9 日 (木)、10 日 (金)

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

内 容 予定

1 日目【11 月 9 日 (木)】

- (1) 染色助剤および機能加工剤 (10.00~12.00) …… 元日華化学, 金崎技術士事務所 金崎 英夫
最近では健康志向を中心とした機能性加工が多く開発されているが、安全性、環境対策を重視する動きが急速に高まっている。そこで話題の機能性加工剤 (非 PFOA 型撥水加工剤, 抗ウイルス加工剤, 防蚊加工剤, その他) の開発動向と安全性、業界動向について紹介します。
- (2) セルローズ系繊維の染色加工 (13.00~15.00) …… (株)東洋紡カンキョーテクノ 代表取締役社長 橋本 嘉顯
基礎講座を受け、それぞれの工程を深掘しつつ、「生産現場を意識した、留意点や問題解決の方向性を」及び「繊維製品の調達を意識した、各工程の意義や品質問題を実現現場のサンプルを通して」解説します。
- (3) タンパク質系繊維の染色加工 (15.15~17.15) …… 元日本毛織, 元日本羊毛産業界協会 長澤 則夫
ウールに代表されるタンパク質系繊維の繊維構造は非常に複雑で、元々多くの機能を併せ持っています。それだけに、このタンパク質系繊維の繊維構造を知ったうえで、染色を始めとする付加価値加工を行う必要があります。またタンパク質系繊維は物理的にも化学的にもデリケートな繊維なので、加工条件の設定には特に配慮することが求められます。このようなタンパク質系繊維の染色・仕上加工の実際の注意点を重点として解説します。

2 日目【11 月 10 日 (金)】

- (4) 合成繊維の染色加工 (10.00~12.00) …… 元帝人, 京都工芸繊維大学 非常勤講師 嶋田幸二郎
合織及びその複合織編物の機能性付与加工は、日本のテキスタイル加工の重要な要素技術で進化している。繊維メーカーにて技術開発してきた経験をもとに、最近発表されている多くの機能性付与技術について、染色および仕上加工の応用を重点にしてサンプルや動画などを利用してわかりやすく解説します。
- (5) 捺染加工及び環境技術 (CO₂ 削減を主に) (13.00~15.00) …… 元日本染色協会, 森本技術士事務所 森本 國宏
1) 個人的な嗜好や歴史的な伝統文化の表現の一つに着衣に花鳥や抽象的なデザインを施す技法に捺染 (テキスタイルプリント) がある。繊維製品への捺染技術は数百年の歴史を持つ従来法と、十数年前から実用化され始めたインクジェット方式について、その技法と装置について解説する。
2) 染色加工産業は、繊維産業の中で突出した資源 (エネルギー、化学薬品、水等) の大量消費産業である。一般には、企業形態は中小企業が多いため、その消費量については個々には余り注目を浴びていないが、全国的な規模、世界規模で俯瞰するとその消費量は膨大な物である。特に地球温暖化の原因とされている二酸化炭素排出量の削減は最重要課題である。品質や生産性を落とさずに化石燃料、電力消費量を減じる技術を中心に、今後予想される問題点についてもその解決策について共に議論する場としたい。
- (6) 繊維製品の性能評価 (15.15~17.15)
…………… 元繊維評価技術協議会, 日本繊維機械学会フェロー 越智 清一
我が国が得意とする各種機能性繊維の分類例、機能性試験方法の JIS, ISO 標準化提案状況を紹介したあと「清潔」「安全・安心」「快適性」及び「イージーケア性」カテゴリー別の代表的な機能性について、その付与メカニズムと評価方法について解説します。

協 賛 大阪染色協会

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 25,000 円, 協賛学協会員 25,000 円, 非会員 33,000 円, 学生会員 5,000 円, 学生非会員 7,000 円 (税別)

申込 「テキスタイルカレッジ染色加工（実用）」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

染色加工研究委員会

委員長	上甲 恭平（椋山女学園大学）		
運営委員	伊藤 博（イトー・ピー・イー・オフィス）	今田 邦彦（今田技術士事務所）	上坂 貴宏（京都市産業技術研究所）
	上野 清隆（日阪製作所）	榎本 雅穂（京都女子大学）	岡田 倫子（滋賀県東北部工業技術センター）
	奥林 里子（京都工芸繊維大学）	越智 清一（元繊維評価技術協議会）	改森 道信（改森技術士事務所）
	金崎 英夫（金崎技術士事務所）	桑原 里実（椋山女学園大学）	嶋田幸二郎（嶋田技術士事務所）
	解野 誠司（和歌山県工業技術センター）	長澤 則夫（元日本羊毛産業協会）	橋本 嘉顯（東洋紡カンキョーテクノ）
	廣垣 和正（福井大学）	松原 孝典（産業技術短期大学）	森本 國宏（森本技術士事務所）
	吉川 雅敏（東洋紡）		

企画委員会

委員長	中西 康雅（三重大学）		
副委員長	倉敷 哲生（大阪大学）	東山 幸央（兵庫県立工業技術センター）	松崎 健（ミズノ）
企画委員	青谷実知代（神戸松蔭女子学院大学）	伊藤 智樹（ポーケン品質評価機構）	稲富伸一郎（東洋紡）
	内丸もと子（テキスタイルデザイナー）	岡田 英基（東レ）	奥野 智朗（住江織物）
	奥林 里子（京都工芸繊維大学）	佐久間 淳（京都工芸繊維大学）	佐藤 克成（奈良女子大学）
	滋野 治雄（帝人）	杉山 研志（TMT マシナリー）	筒井久美子（村田機械）
	中根 幸治（福井大学）	西田 裕紀（関西ファッション連合）	野田 博丈（トヨタ紡織）
	馬場武一郎（日本毛織）	原 茂（豊田自動織機）	伴場 秀樹（津田駒工業）
	廣澤 覚（京都市産業技術研究所）	深沢太香子（京都教育大学）	堀場 洋輔（信州大学）
	森島 英暢（倉敷紡績）	山田 博夫（ユニチカトレーディング）	山田由佳子（大阪教育大学）
	山本 温子（カトーテック）	吉岡 謙一（クラレ）	若松 栄史（大阪大学）
アドバイザー	宇治 光洋（ダイセン（繊維ニュース））	木村 照夫（京都工芸繊維大学）	武内 俊次（福原産業貿易）
	中村 信（ダイキン工業）	藤井 明彦（繊維評価技術協議会）	松下 義弘（京都工芸繊維大学）
	六田 克俊（高知県立紙産業技術センター）		

テキスタイルカレッジ

合成繊維 (実用)

合成繊維についての、合成・重合・紡糸（スーパー繊維を含む）、糸加工、製布、染色加工および特化素材について、基礎から最新の技術までを体系的に習得できるようなプログラムを企画しました。これから繊維事業に携わる技術者にはひとつの分野の専門を有するだけでは不十分で、広い範囲の知識が求められます。本講座はこのようなニーズにも応えられるものと確信しています。講義にはできるだけ現物(サンプル)を提示するようにしています。多数の方々のご参加をお待ちします。

期 日 平成 29 年 12 月 5 日(火)、6 日(水)

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

内 容 予定

1 日目【12 月 5 日(火)】

- (1) 化合繊維概論 (10.00~12.00) 山崎技術士事務所 代表, 京都工芸繊維大学 非常勤講師 山崎 義一
- 種々の化学繊維の概要を説明し, その技術史ならびに産業論を含めて解説します -
- (2) 合成繊維のモノマー, 重合, ポリマー, 化学改質 (13.00~15.00)
..... 名古屋大学 名誉教授, 名古屋産業科学研究所 上席研究員 小長谷重次
- 3 大合繊とポリウレタンを対象としたモノマー, 重合, ポリマー, 化学改質について解説します -
- (3) 合成繊維の繊維化プロセス, 構造と物性の関係 (15.15~17.15)
..... 龍谷大学 REC, P&P リサーチ代表, 日本繊維機械学会フェロー 石原 英昭
- 紡糸工学の概要を説明し, 特に熔融紡糸, 乾式紡糸などの実際例を紡糸挙動, 繊維構造, 物性などと関連づけて解説します -

2 日目【12 月 6 日(水)】

- (4) 合成繊維の高次加工 - 糸加工, 製布 (10.00~12.00)
..... 元東レ, 日本繊維技術士センター 執行役員 木村 俊彦
- 合成繊維フィラメントの高次加工としての仮撚, エア加工, 撚糸および混織・複合を含む糸加工の目的, 手法, 効果, それを生かす製布の概要について説明します -
- (5) 合成繊維の高次加工 - 染色加工 (13.00~15.00) 元帝人, 京都工芸繊維大学 非常勤講師 嶋田幸二郎
- 合成繊維の染色技術および染色加工工程での高付加価値加工や, 機能性付与技術について, 原糸開発との関連においてその基礎知識と最近の技術動向をサンプルとともに解説します -
- (6) スーパー繊維とその用途展開 (15.15~17.15)
..... 東洋紡(株) 総合研究所 コーポレート研究所 部長 寺本 喜彦
- 近年, スーパー繊維として脚光を浴びている有機系の高強度・高弾能率繊維を中心に, その基本から最近の用途開発事例について解説します -

協 賛 大阪染色協会

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 25,000 円, 協賛学協会員 25,000 円, 非会員 33,000 円, 学生会員 5,000 円, 学生非会員 7,000 円 (税別)

申 込 「テキスタイルカレッジ合成繊維 (実用)」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

実習：感性評価のための布特性

着心地を始めとする感性評価についての概説、布の触感に関わる風合いの客観評価に用いられる布の物理特性値の意味と KES-F の測定原理についての講義の後、少人数での実習を行います。実習では、KES-FB1～4 (auto system ではありません) を用いて布の力学的特性 (引張, せん断, 曲げ, 圧縮特性) と表面特性を、KES-F7 サーモラボを用いて熱移動特性 (最大熱流束 q_{max} , 熱コンダクタンス, 熱損失) を測定します。

布の物理特性について学びたい、KES を所持しているので測定原理を復習したいというだけでなく、基本的な測定条件を知った上で衣料用の布だけでなく触感に関わる生活材料 (たとえば不織布, 皮革類, 紙, フィルム, その他硬い材料など) に応用したい, さまざまな条件設定について知りたいなど, これまでの事例を踏まえ, 触感研究への応用に関するさまざまなご相談にも対応します。布の物理特性を勉強する機会がなかった方や感性評価に興味をお持ちの方を対象に, 布の触感の客観評価の実際を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に触感評価にかかわる業務に携わっておられる方にも大いに役立つものと思います。関係各位多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 平成 29 年 12 月 8 日 (金)

会 場 神戸大学国際人間科学部 鶴甲第 2 キャンパス (神戸市灘区鶴甲 3-11)

JR「六甲道」または阪急「六甲」下車の後, 各駅北側のバス停より神戸市バス 36 系統 鶴甲団地行 神大人間発達環境学研究科前 下車。

講 義 13.00～14.30

(1) 着心地に関わる評価の概説, 布の力学特性・表面特性・熱水分移動特性の測定と風合いの客観評価
..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

実 習 14.30～16.30

(2) 1) 布の曲げ特性, せん断特性, 引張特性の測定
2) 布の圧縮特性, 表面特性の測定
3) 布の熱移動特性 (最大熱流束 q_{max} , 熱コンダクタンス, 熱損失) の測定
3 班に分かれ, ローテーションで実習を行います。
..... カトーテック(株)ならびに井上真理

まとめ 16.30～17.30

(3) エクセルファイルを用いた風合い計算の解説 (必要な方は USB, ノートパソコンをご持参ください)
および 質疑応答
..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

協 賛 大阪染色協会

定 員 15 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 10,000 円, 非会員 18,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

申 込 テキスタイルカレッジ「実習：感性評価のための布特性」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にてお申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

ナノファイバー研究会（第24回）研究例会

日時 平成29年8月31日(木) 13.30~16.45

会場 AOSSA (福井市手寄1-4, 福井駅東口徒歩1分)

内容 予定

13.30~14.15

(1) 福井県の繊維産業と工業技術センターの取り組み (仮)

..... 福井県工業技術センター 化学・繊維部 繊維研究 G 近藤 幸江

14.15~15.00

(2) 液中エレクトロスプレーを用いたナノ材料の構造制御

..... 産業技術総合研究所 環境管理研究部門 反応場設計研究グループ長 脇坂 昭弘

15.15~16.00

(3) 低分子紡糸技術による多彩な機能ファイバー材料の開発

..... 信州大学 繊維学部 助教 吉田裕安材

16.00~16.45

(4) レーザ溶融エレクトロスピンニング法の開発と利用例

..... 福井大学 大学院工学研究科 繊維先端工学専攻 中根 幸治

17.00~18.30

(5) 交流会

定員 30名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 8,000円, 非会員 16,000円, 学生会員無料, 学生非会員 2,000円 (税別)

日本繊維機械学会ナノファイバー研究会メンバー無料, 交流会参加費別途 5,000円

申込 「ナノファイバー研究会公(第24回)研究例会」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加有無を記入の上, FAX または E-mail にてお申し込み下さい. 学会 HP より参加申込書のダウンロードができます.

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル,

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

【繊維産業活性化委員会 (繊維・未来塾)】

塾長 松田 正夫 (元大阪繊維リソースセンター社長)

副塾長 近藤 健一 (大正紡績(株) 繊維事業本部長 兼 東京営業所長)

八代 芳明 (東海染工(株) 取締役会長)

幹事 松下 義弘 (京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任教授)

運営委員 糸井 弘一 (関西ファッション連合 戦略室 特命担当)

白谷旗世彦 (大津毛織(株) 代表取締役)

北丸 豊 (豊栄繊維(株) 代表取締役社長)

高澤 史納 (高澤織物(株) テキスタイルデザイナー)

辰巳 雅美 (辰巳織布(株) 代表取締役社長)

米倉 勝久 ((株)タカラ 代表取締役会長)

松尾 憲久 (マツオインターナショナル(株) 代表取締役社長)

山下 雅生 ((株)エイガールズ 取締役会長)

宇治 光洋 (ダイセン(株) (繊維ニュース) 編集グループ記者)

貝原 良治 (カイハラ(株) 代表取締役会長)

桑名 紀夫 (日本パーソナルカラー協会 顧問)

高杉 哲朗 ((株)ショーワ 代表取締役社長)

山本 敏明 (西染工(株) 代表取締役)

渡邊 利雄 (渡辺パイル織物(株) 代表取締役社長)

見学会「産地見学「播州」」

兵庫県西脇市を中心に、多可町・加西市・加東市・丹波市の4市1町からなる日本最大の先染綿織物の産地である播州産地を見学します。近畿経済産業局が全国で初めて創設した「ローカル・イノベーション・プロジェクト」に、第1弾として登録され注目を集めた西脇ファッション都市構想にて整備したデザイン・縫製機器を備えたコワーキングスペース「CONCENT」と、播州産地で唯一、企画～染色～製織～仕上加工の全工程の一貫工場である東播染工株式会社、繊維系工設試験研究機関の兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センターの見学を予定しています。

多数の方々のご参加をお待ちしています。

日時 平成29年10月17日(火)

内容

9.00 大阪駅近辺に集合，移動（貸切バス）

10.40～11.30 見学 コワーキングスペース「CONCENT」
講演「西脇ファッション都市構想について」

西脇市・ファッション都市構想推進室長 藤井隆弘

11.30～12.00 見学 播州織工房館

12.00～12.50 昼食

12.50～13.20 見学 旧來住家住宅（国登録有形文化財）および西脇情報未来館 21

13.20～13.30 移動（貸切バス）

13.30～15.00 見学 東播染工株式会社

15.00～15.20 移動（貸切バス）

15.20～16.30 見学 兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター

講演「支援センターの概要と西脇ファッション都市構想に係る技術支援」

16.30～ 移動（貸切バス）

18.00 大阪駅到着，解散

定員 25名（定員になり次第締め切らせて頂きます。なお、都合によりご遠慮頂く場合がありますので、あらかじめご了承下さい。）

参加費 会員 5,000円，非会員 10,000円，学生会員 1,000円，学生非会員 2,000円（税別）

その他 当日はバスで移動を行います。自家用車でのご参加を受け付けておりません。

申込 見学会「産地見学「播州」」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込用紙のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, info@tmsj.or.jp

企業心理と消費者心理研究会 第16回公開講座

企業心理と消費者心理研究会では、下記の内容にて第16回公開講座を開催致します。

参加料は無料です。多数のご参加をお待ち申し上げます。

日時 平成29年10月25日(水) 11.15~12.50(受付11時~)

会場 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス A号館 4F404 (神戸市中央区港島1-1-3)

JR三宮、阪急三宮駅・阪神三宮駅よりポートライナーに乗り換え、みなとじま下車(乗車時間8分:三宮から4つ目)徒歩約6分。

内容

11.15~ 開会の挨拶

..... 神戸学院大学 辻 幸恵

11.20~ 「フェアトレードの現状」

..... (有)シサム工房 矢端 信也

12.30~ 質疑応答

12.45~ 閉会の挨拶

..... 神戸学院大学 フェアトレードサークル部長 皆見和香葉

問合せ先 企業心理と消費者心理研究会委員長 神戸学院大学 経営学部 辻 幸恵

E-mail : yukie213@ba.kobegakuin.ac.jp

電話 078-974-1551(代) 内 82470, FAX : 078-871-1121

北陸支部 平成29年度北陸支部研究発表会 発表募集

北陸支部では平成29年度の研究発表会を下記の要領で開催します。恒例の「北陸支部優秀発表賞」(若手発表者[平成29年4月1日現在で35歳以下]で審査希望のあった発表の中から優れた研究発表を選出する)の表彰も行います。なお、今年度より、繊維学会北陸支部と共催することになりましたので、学会の枠にとらわれず多くの方々の参加をお待ちしております。

日時 平成29年11月30日(木)

午前:特別講演,午後:研究発表会(講演内容,開催時刻等の詳細は後日案内)

(上記スケジュールは変更する場合があります。)

会場 福井市地域交流プラザ6F(AOSSA 6階 会議室(詳細は後日案内))

〒910-0858 福井県福井市手寄1-4-1, JR福井駅東口徒歩1分

要領 以下の①~④の項目を平成29年9月22日(金)必着にて、E-mailもしくはFAXで下記宛お申し込みください。なおご不明な点も北陸支部事務局植松までご連絡ください。

①発表題目

②発表者の氏名と所属(共同研究者の場合には発表者に○印)

③発表種別 1. 一般セッション, 2. 優秀発表審査セッション

*2のセッションは平成29年4月1日現在で35歳以下の発表者に限ります

④連絡先(連絡者の氏名, 所属, 電話番号, E-mail アドレス)

申込先 日本繊維機械学会 北陸支部事務局 担当: 植松英之

E-mail : uematsu@matse.u-fukui.ac.jp, FAX. 0776-27-8767, TEL. 0776-27-9952

〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学大学院工学研究科 繊維先端工学専攻

東海支部 第31回 東海支部若手繊維研究会

日時 平成29年12月2日(土) 9.30~18.00 (予定)

会場 椋山女学園大学 (予定) (愛知県名古屋市千種区星が丘元町 17-3)

共催 日本繊維機械学会東海支部, 繊維学会東海支部, 日本繊維製品消費科学会東海支部

内容 一般研究発表, 情報交換会

研究発表申込

日本繊維機械学会の web ページよりお申込みください。 <http://tmsj.or.jp/branch/tokai/>

研究発表申込締切 10月6日(金)

要旨原稿提出締切 11月3日(金)

参加申し込み

日本繊維機械学会の web ページよりお申込みください。 <http://tmsj.or.jp/branch/tokai/>

参加費 1,000円 (発表者, 学生は無料) 情報交換会費 3,000円 (学生は 1,000円)

お問い合わせ 三重大学教育学部 技術・ものづくり教育講座 中西康雅

E-mail : tokai@tmsj.or.jp

中国支部 平成29年度中国支部研究及び事例発表会 発表募集

中国支部では日本繊維製品消費科学会中・四国支部と共催で, 平成29年度研究及び事例発表会を開催します。多数方々の発表をお待ちします。

日時 平成29年12月8日(金) 13.30~

会場 岡山県立図書館 2F サークル活動室 (岡山市丸の内 2-6-30)

<http://www.libnet.pref.okayama.jp/>

要領 ①発表題目, ②発表者名 (共同研究の場合には発表者に○), ③連絡先 (電話番号, FAX 番号, 利用可能ならば E-mail アドレス) を記入の上, 9月29日(金) 必着で下記宛お申し込み下さい。

申込み・問い合わせ先

日本繊維機械学会中国支部事務担当, 倉敷市立短期大学服飾美術学科 道明伸幸

(〒711-0937 倉敷市児島稗田町 160)

TEL.086-473-1859, FAX.086-473-1857, E-mail:michiaki@m.kurashiki-cu.ac.jp

協賛行事 第21回成形加工テキストセミナー

- 日時** 平成29年9月7日(木)
会場 スクエア荏原大会議室 (東京都品川区荏原 4-5-28)
主催 プラスチック成形加工学会
内容

- (1) 成形加工におけるプラスチック材料 (第1章)
 東京工業大学 鞠谷 雄士
- (2) 成形加工とプラスチック材料の微細構造 (第2章)
 東京工業大学 鞠谷 雄士
- (3) 射出成形における結晶性プラスチックの構造形成 (第3章)
 東京工業大学 鞠谷 雄士
- (4) 成形加工とプラスチックの転移現象 (第4章)
 名古屋大学 増渕 雄一
- (5) 成形加工とプラスチックの物性 (第5章)
 信州大学 大越 豊

その他 詳細はプラスチック成形加工学会 HP (<https://www.jspp.or.jp/>) をご参照下さい.

協賛行事 第22回成形加工テキストセミナー

- 日時** 平成29年9月12日(火)
会場 工学院大学新宿キャンパス (新宿区西新宿 1-24-2)
主催 プラスチック成形加工学会
内容

- (1) 混合混練の最新技術
 (株)神戸製鋼所 黒田 好則
- (2) 射出成形の技術動向
 NTPP Lab 館山 弘文
- (3) 押出成形の技術動向
 東芝機械(株) 水沼 功治
- (4) ブロー成形の動向
 東洋製罐グループホールディングス(株) 山田 俊樹
- (5) スタンピング成形技術の動向と応用展開
 クオドラント・プラスチック・コンポジット・ジャパン(株) 川村 浩司
- (6) 接合の技術動向
 トヨタ紡織(株) 小山 弘

その他 詳細はプラスチック成形加工学会 HP (<https://www.jspp.or.jp/>) をご参照下さい.

日本繊維機械学会 書籍のご案内

学会 HP (<http://www.tmsj.or.jp/>) にて目次が見られます

繊維工学 (I) 繊維の科学と暮らし (本体価格 3,500 円)

図や写真を豊富に入れ、やさしく読みやすく記述しました。広い視野に立って社会史・工業史・文化人類史等の色彩を加え、技術予測など将来展望を含んだ広範な解説です。

繊維工学 (II) 繊維の製造・構造及び物性 (本体価格 3,000 円)

繊維形成高分子の生成、高分子の特性化、高分子の繊維化、繊維の構造と性質など、出発原料である低分子化合物より一貫して繊維を基礎から理解できるよう記述しています。

繊維工学 (III) 糸の構造・性能及び物性 (本体価格 3,700 円)

従来の紡績学とは違った方向から糸づくりのすべてを体系化して、やさしく解説しています。

繊維工学 (IV) 布の製造・性能及び物性 (本体価格 3,700 円)

布を織物・編物・不織布・組物・網・レースに分類し、各章ごとに製造と構造を説明し、さらに布全体としての性質を述べ、布づくりに関連する機械の紹介も網羅しています。

繊維工学 (V) 染色仕上 (本体価格 3,000 円)

染色仕上に関するすべての研究者、技術者、および生産者、消費者を対象とし、染色の基礎科学から浸染・捺染・水洗・脱水乾燥・熱加工などの単位操作までを詳述しています。さらに生産管理や色彩論なども加えました。

繊維工学 (VI) 最終繊維製品の製造と性能 (本体価格 3,000 円)

産業資材用繊維、アパレル、インテリアとエクステリアなどの製造と性能、さらにこれらの性能試験について、理論と実際の両面からバランスよく平易にまとめています。

繊維産業発達史概論 (本体価格 2,716 円)

繊維産業の直系の祖先を訪ねることにより、人類の誕生から現在に至るまでの繊維を作る技術と、その産業の歴史を系統的にまとめたもので、世界にも類をみない。

KES 特性値 (パラメータ) を用いるテキスタイルの風合い・外観・快適性客観評価式

(A4 版 65 頁、客観評価式の計算ソフト付き、本体価格 1,500 円)

本小冊子は川端・丹羽らによって開発された布の風合い客観評価式の全てを網羅したものである。KES システムで得られる基本力学特性値 (パラメータ) を用いて、布の風合い客観評価式が用途別に誘導されており (1980)、実際にこれらの式の計算に必要なデータ (特性値の標準偏回帰係数、平均値、標準偏差、等)、及び KES システムの計測条件を一覧できる。

繊維新素材・新製品データ集 (本体価格 4,800 円) (印刷発行 昭和 63 年 3 月 31 日)

【購入方法】

日本繊維機械学会 HP より購入申込書をダウンロード頂き、下記宛に E-mail または FAX にてお申し込み下さい。学会 HP (<http://www.tmsj.or.jp/>) にてすべての目次が見られます。

一般社団法人日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区鞠本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル 6 階

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp